

みみネット

-Index- 一側性高度難聴(SSD)および非対称性難聴(AHL)症例への人工内耳の薬事承認について
進化した人工内耳「EAS」について
チャレンジ発音指導③ 幼稚園「公開保育」の案内



一側性高度難聴(SSD)および非対称性難聴(AHL)症例への人工内耳の薬事承認について

『Cochlear Nucleus® Profile™ Plus シリーズ 人工内耳インプラント』および『Cochlear™ Nucleus® 8 サウンドプロセッサ』について、2026年2月3日付で一側性高度難聴および非対称性難聴症例に対して薬事承認されました。

これにより、人工内耳システムを新たな治療の選択肢として検討できるようになりました。現在、保険収載については、準備中です。

一側性高度難聴および非対称性難聴症例に対する人工内耳適応基準につきましては、日本耳科学会ホームページにてご確認ください。

引用：<https://www.cochlear.com/jp/ja/home/products-and-accessories/announcement>



人工内耳「EAS」について

EASとは？

(ハイブリッドな聞こえの仕組み)

(残存聴力活用型人工内耳：Electric Acoustic Stimulation)

「補聴器」と「人工内耳」の長所を組み合わせたシステムです。

低音域は「補聴器」で：自分の耳に残っている聴力を活かし、音を増幅して伝えます。

高音域は「人工内耳」で：聞き取りにくい高い音を、電気刺激に変換して直接聴神経に伝えます。

EASは「低音の自然な聞こえ」を残しつつ、言葉の輪郭(高音)をはっきりさせることが可能です。

EASの特徴

従来の人工内耳に比べて以下のような場面で強みを持つとされています。

騒音下での聞き取り：ガヤガヤした教室の中でも、先生の声を選別しやすくなります。

音楽の楽しみ：音の高さ(ピッチ)を感じやすいため、音楽の授業や歌唱での負担が軽減されます。

言葉の聞き取り：補聴器だけでは判別しにくかった「サ行」などの高音成分がクリアになります。



EASの対象となるのは？

EASは、すべての人に効果があるわけではなく、「特定の聞こえの形」を持つ児童生徒が対象となります。

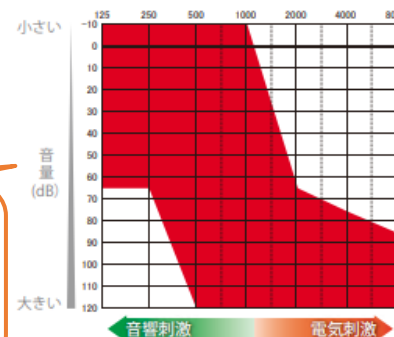
医学的な聴力の特徴：高音急墜型(こうおんきゅうついがた)

「低い音はある程度聞こえるが、高い音だけが急激に聞こえなくなる」タイプの難聴です。

低音域：500Hz以下の低い音の聴力が、一定以上残っている。

高音域：1,500Hz以上の高い音が、補聴器を使ってもほとんど聞き取れない。

聴力：両側難聴で植込術耳が聴力図の範囲内の感音難聴であること。
他にも補聴器装着下での聞き取り等様々な条件がある。



【本記事の参考資料】

- 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 HP
- 国立特別支援教育総合研究所「聴覚障害教育情報」
- 各人工内耳メーカー(メドエルジャパン、日本コクレア)HP・技術資料

チャレンジ!発音指導 ③⑩

促音②

練習の工夫

1. タイミングの感覚を育てる

手拍子やジェスチャー

発音のタイミングを「パン・(間)・パン」のように手拍子で表現し、「っ」の部分を“止める”動作で示します。

リズム練習

「かっこ」「きって」などの単語を、リズムに乗せて繰り返すことで、音の間を体感させます。

代表的な促音の単語例：

カ行 (kk)： 学校 (がっこう)、さつき、国旗 (こっき)、石器 (せっき)

サ行 (ss)： 雑誌 (ざっし)、まっすぐ、あっさり、一切 (いっさい)

タ行 (tt)： マッチ、一体 (いったい)、あさって、やっと、切手 (きって)

パ行 (pp)： らっぱ、切符 (きっぷ)、一杯 (いっぱい)、さっぱり

2. 視覚的な支援

文字カードの間隔を空ける

「か」「っ」「こ」とカードを並べ、「っ」の部分を少し離して置くことで、視覚的に“間”を示します。

動画や口の動きの観察

話者の口が一瞬止まる様子を見せることで、促音のタイミングを視覚的に理解させます。

3. 身体感覚を使った練習

息を止める練習

「すーっ」と息を吸って、一瞬止めてから「こ」と言うなど、呼吸のコントロールを通じて促音の感覚をつかませます。

動作と連動させる

「止まる→動く」の動作を使って、発音の流れを身体で覚えるようにします。

【指導のポイント】

促音は、音としては短く、聴覚的にも捉えにくいいため、タイミング・リズム・動作を使った指導が効果的です。聴覚障がい児にとっては、音の存在を「感じる」ことが難しいため、視覚・触覚・運動感覚を組み合わせた支援が求められます。

また、促音が抜けてしまう、または不自然な位置で入ってしまう場合は、発音の流れやタイミングの理解が不十分な可能性があるため、繰り返し練習を通じて感覚を育てていくことが大切です。

6/16

「幼稚部 公開保育」の案内

本校幼稚部では、来年度入学を検討している幼児及び保護者を対象に公開保育を開催しています。ぜひご参加ください。

- 1 日 時 令和8年6月16日(火) 10:00~11:45
- 2 場 所 本校幼稚部
- 3 対 象 入学を検討している幼児とその保護者
- 4 内 容 校内見学及び説明
- 5 その他 駐車場はありません。公共交通機関でご来校ください。
・スリッパや上靴をご持参ください。
・敷地内、路上は全面禁煙です。



〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

大阪メトロ：谷町線・中央線「谷町4丁目」@番出口 南東約600m

谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」⑦番出口 北東約600m

シティバス：上町一丁目もしくは国立病院前下車

〈申込方法〉 参加は、事前申し込み制です。
保護者の方の参加希望は、所属の学園にお伝えください。

〈問い合わせ〉大阪府立中央聴覚支援学校 幼稚部(担当)：壺井
TEL 06-6761-1419
FAX 06-6762-1800

締め切り 6月5日(金)

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：塩谷、只腰、長谷川、萩原

〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

TEL. 06-7712-1405 (支援関係) / 06-6761-1419 (学校代表)

FAX. 06-6762-1800